

ヒューマンエラーに強い職場づくり

# ヒューマンエラー防止研修

- ・「記憶」「認知」「判断」「行動」「記憶」…、といった人の情報処理システムを切り口とし、
- ・人がヒューマンエラーを起こすメカニズムからみた作業のやりにくさ、エラーを誘発する要因を抽出し、
- ・要因を排除・緩和するなど適切な対策・改善・マネジメントを行う

開催日時	2024年 8月 6日(火)～ 7日(水)	オンライン	
	2024年 12月 19日(木)～ 20日(金)	大阪会場	
	2025年 2月 6日(木)～ 7日(金)	オンライン	
			各回2日間とも 10:00～17:00

対 象	ヒューマンエラー問題に困っている ・ 担当の方 ・ 管理・監督者の方 ・ 経営幹部の方		
講 師	大西 弘倫 氏 (株)日本能率協会コンサルティング チーフ・コンサルタント		
参加料(税込)	法人会員： 99,000円/1名 会 員 外： 110,000円/1名		

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。  
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>  
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

## ね ら い

みなさまが実施されているヒューマンエラー対策活動は再発防止型が中心ではないでしょうか。再発防止型では、何か問題が発生してからしか活動が展開出来ず、モグラ叩きの活動になりがちです。

これからは、現状で作業・業務をやりにくくしている阻害要因をすべて抽出し、それを排除・緩和していこうという未然防止型の改善アプローチに変えていくべきです。

ヒューマンエラーの対策力向上には、**いろいろな角度から網羅的に検討することが重要**です。本研修では、再発防止のための考え方はもちろんのこと、未然防止型の活動を展開するための考え方、手法を学び、ヒューマンエラーに強い職場づくりを目指します。

演習を主体とした「体感」「体得」に力点を置いたカリキュラムです。検討・発表・質疑応答などさまざまな場面で、気づきを促すしかけとなっております。

## 本セミナーで学べること

- ✓ 人の情報処理システム
- ✓ ヒューマンエラー発生メカニズム
- ✓ エラーを誘発する要因とその抽出視点
- ✓ エラーを取り巻く構造からみた対策立案視点

## 参加者の声

- ・リスクマップを作成することで現場で起こるヒヤリハットを分析し、事前対策を立てることが大変参考になりました。
- ・演習が多くあり、グループ検討を通じて他社の色々な業種の方の発想・意見は大変参考となりました。
- ・チェックリストを用いての「要因の振り分け」と「逸脱の種類判別」で、改善方法を学ぶことができ大変参考になりました。
- ・基礎的なことだけでなく会社へのフィードバック方法も知ることができとてもよかったです。
- ・もう一日多く学びたいほど濃い内容でした。丁寧にアドバイスを頂きありがとうございました。

## ■ プログラム

2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1日目: ヒューマンエラーへの理解、エラー要因抽出力の向上

### ◆ オリエンテーション

#### 1 ヒューマンエラーの基礎知識

#### 2 人の情報処理システムからみたヒューマンエラー発生

- ・メカニズムとエラー要因の抽出

#### 3 ヒューマンエラーリスクマップ作成

演習

ねらい

- ・各工程・業務におけるヒューマンエラー傾向を見える化する
- ・発生傾向をみて、改善の重点対象を設定する
- ・発生例はないが、発生可能性のあるエラーリスクを想定する(水平展開・未然防止)

#### 4 ヒューマンエラー要因の抽出

演習

2日目: 改善の基本ステップを一通り実践できるようになる

### ◆ 1日目の振り返り

#### 5 現状分析(時系列分析)

演習

ねらい

- ・ヒューマンエラー、不具合に至るまでの経緯が第三者でもわかるよう、時系列、視覚的に整理する
- ・「誰が」「いつ」「何を」「どうした」を明確にする

#### 6 ヒューマンエラー要因の抽出

演習

#### 7 対策の立案

演習

#### 8 今後に向けて

- ◆ 参加者特典:  
ヒューマンエラー要因抽出チェックリスト



全  
12分類  
39要因

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

